

「原発のゴミ処分の責任を果たすのは誰か」 を問う県民の集い

元青森市長の鹿内博さんを迎え「原発ゴミ処分」問題の講演と討論会を開催します。核燃料サイクル政策が破綻し、原発から出る使用済み核燃料の行き場がなく、若狭の原発はまもなく稼働できなくなります。

これまで使用済み燃料を受け入れてきた青森県からも怨嗟の声が聞こえてきます。再処理工場など核施設のあるこの地域は一昨年「縄文遺跡群」として世界遺産に指定されました。



青森県六ヶ所村の再処理工場 撮影 若泉政人

日 時: 5月21日(土) 午後1時30分より
会 場: 国際交流会館 1・2会議室 福井市宝永3丁目

第一部 講演 「青森県は核のゴミ捨て場ではない」

鹿内 博さん 元青森市長/現青森県議会議員(無所属)



鹿内博さんは、政治家になる前、地域住民が自らの創意と活力で豊かで住みよい「ふるさとづくり」を進める新生活運動協議会で仕事をされていました。かつて福井県の新生活運動協議会で活躍された吉田秀尾さんとも親交があったそうです。豊かで住みよいふるさとを子孫に残したいという同じ思いで、鹿内さんは核燃の問題にも長年取り組んでこられました。



鹿内博さん

第二部 パネルディスカッション 再処理、プルサーマル、中間貯蔵などについて

パネリスト 松下照幸(美浜町町議) 長沢啓行(大阪府立大学名誉教授)

若泉政人(サヨナラ原発福井ネットワーク) ーその他未定 要請中ー

* 関西電力(株)や福井県にもパネリストとして参加を要請中です。

主催 「核のゴミ処分の責任を果たすのは誰か」を問う県民の集い実行委員会

連絡先: 山崎隆敏 090-6271-8771

* カンパ送り先 郵便振替口座: 00780-9-40314(サヨナラ原発福井ネットワーク)